

シンガポール取引所(SGXL)

米為替取引システム会社「マックス・トレーダー」を買収。主力の通貨デリバティブ事業の成長加速に期待。

シンガポール | 証券・商品先物取引 | 業績フォロー

BLOOMBERG SGX:SP | REUTERS SGXL.SI

- 2022/6期1H（7-12月）は、営業収益が前年同期比0.2%増、営業利益が同4.8%減。BidFXが増収に貢献も同社に係る営業費用増が響き減益。
- 中国経済に対してFTSE中国A50先物や人民元米ドル先物、経済再開・貿易拡大に対してコモディティ等のデリバティブ伸長が期待される。
- 米為替取引システム会社「マックス・トレーダー」を買収。BidFXとのシナジー効果による通貨デリバティブ事業の成長加速が期待される。

What is the news?

2/4発表の2022/6期1H（7-12月）は、営業収益が前年同期比0.2%増の5.21億SGD、営業利益が同4.8%減の2.59億SGD、純利益が同8.7%減の2.18億SGD。2020年に買収した金融機関向け為替取引システム運営のBidFXが増収に寄与した一方、同社および2020年に買収した指数プロバイダーのScientific Beta社に係る人件費上昇、およびBidFx社のシステム補修費用・の増加により営業費用が同8.2%増と嵩んだことが利益面で響いた。

主要3事業セグメント別の営業収益は以下の通り。

「債券、および通貨・コモディティに係るデリバティブ事業」は前年同期比14.8%増の1.13億SGD。その内、①「債券」は1.4%減、②通貨・コモディティに係るデリバティブはBidFX経由の取引枚数増加により同16.1%増となった。

「現物株式及び株式デリバティブ事業」は同4.6%減の3.34億SGD。その内、③現物株式が同5.1%減の1.90億SGD。コーポレートアクション関連収益が減少したほか、1日の平均取引額の減少によりトレーディングおよび清算収益が減少した。④株式デリバティブは同3.9%減の1.43億SGD。FTSE中国A50先物等の平均取引手数料の上昇によりトレーディングおよび清算収益が増加したものの、財務収益が運用利回りの低下により減少した。

「時価データ・指数および接続事業」は、同3.3%増の73.1百万SGD。その内、⑤市場データ・指数関連収入が同4.5%増の41.4百万SGD。Scientific Beta経由の収益が増加したほか、月額定額のデータサブスクリプションが増加。⑥接続に係る収入は同1.9%増の31.8百万円SGDだった。

How do we view this?

2022/6通期会社計画は、総費用が5.65-5.75億SGD（前期実績4.30億SGD）、資本的支出が60-65百万SGD（同51.1百万SGD）と従来計画を据え置いた。FTSE中国A50先物、人民元米ドル先物、中国国債ETF、鉄鉱石先物は中国経済の拡大によるエクスポージャー管理ニーズの高まりが期待されるほか、貨物・石油・ゴム・農産物等のコモディティ先物は経済再開に伴う貿易・輸送の回復により、取引枚数の拡大加速が期待される。

今年1月、取引システム運営の米フレックス・トレード・システムズから銀行やブローカー向けに為替取引やリスク管理システムを提供するマックス・トレーダー社を買収した。機関投資家向けシステム運営のBidFXとのシナジー効果で通貨デリバティブ事業の成長加速が期待されよう。

業績推移

※参考レート 1SGD=78.13円

事業年度	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6F	2023/6F
営業収益(百万SGD)	909	1,052	1,056	1,088	1,176
当期利益(百万SGD)	391	471	445	431	479
EPS(SGD)	0.36	0.44	0.41	0.40	0.44
PER(倍)	26.19	21.43	23.00	23.46	21.29
BPS(SGD)	1.02	1.16	1.30	1.40	1.51
PBR(倍)	9.25	8.13	7.25	6.74	6.25
配当(SGD)	0.30	0.31	0.32	0.33	0.34
配当利回り(%)	3.18	3.29	3.39	3.50	3.61

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

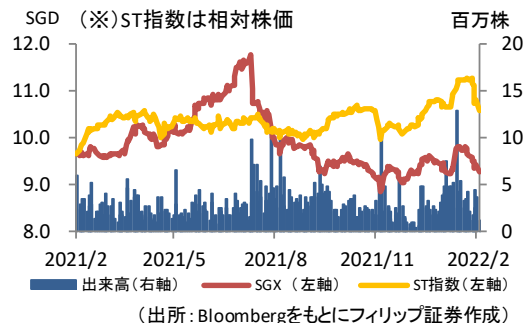
 配当予想 (SGD) **0.33** (予想はBloomberg)
 終値 (SGD) **9.43** 2022/2/25

会社概要

1999年設立。アジアを代表する資本市場インフラであり、取引所やクリアリングハウスの所有、運営を行っている。株式、債券からデリバティブ商品までマルチ・アセットに対応しており、上場から取引、清算、決済、保管およびデータサービスまでに至る、総合的なサービスを提供している。上場株式の40%がシンガポール国外の発行体のものであるほか、上場公社債の80%が国外で組成されたものであるなど、国際化が進んでいる取引所である。

同社は、「①債券、および②通貨・コモディティに係るデリバティブ」、「③現物株式、および④株式デリバティブ」、「⑤時価データ・指数、および⑥接続」の3事業セグメントから構成されている。

ベータ値	0.61
時価総額(百万SGD)	9,957
企業価値=EV(百万SGD)	9,597
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	28.6



主要株主 (2022/2)	(%)
1. シュロダー	2.67
2. ブラックロック	2.64
3. VANGUARD GROUP	2.28

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

山口 亮太
 +81 3 3666 0707
 ryota.yamaguchi@phillip.co.jp

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
日本証券アナリスト協会検定会員 山口亮太

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。